

○ 旭川開催の歌留多大会報道記事

○ 1~12

新聞切り抜き

出来るだけ忠実に記事を書き写しました。不明の文字は○または……で表示する

旭川における歌留多大会の歩み

明治44年1月18日 北海タイムス

盛んなる歌留多曾

旭川町にては昨年一月に第一回歌留多大曾を開き集る者百余名に達し頗る盛況を見たるより本年も来る二十一日を以て第二回歌留多競技大曾を開く事に決し十四日午後六時より二條通り七丁目菊水堂樓上に於て豫行大曾を開きしに曾する者約六七十名あり夜明迄で催したるが來曾者は岩見澤伊納名寄等其の他旭川近村の者多數ありて是れも頗る盛況を呈したり去れば来る二十一日の競技大曾への申込み者已に六十余名に達し居る由にて當日は我社寄贈のメタル其の他各新聞社寄贈のメタル及び各商店より寄贈の賞品少なかなづと云ふ

明治45年1月24日 北海タイムス

旭川歌留多曾

二十日午後五時あさひ曾主催第三回大曾東京庵に於て開催札幌の麒麟岩見澤の梅ヶ枝兩俱樂部を始め各地方選手相曾し總数百二十豫名各組に分れて大激戦夜を徹し梅ヶ枝第一等麒麟第二等となり餘興もありて盛曾なりしと

大正4年1月24日 北海タイムス

盛んな源平戦

本社旭川支局主催歌留多大曾は廿日午後六時より旭川四條通り支局廣間に於て開催小畠旭川毎日子、旭川區裁判所の雄將倉谷、高岡、石山、木下の諸氏を始め高橋、早野、渡邊の諸氏來曾一座急に氣勢を示し源平に分れ花々しく輪蹴を争はんとし纏て戦機到り「ヤ」「ヤ」の懸聲勇ましく互に鎧を削り接戦十分にして紅軍の勝利となり之より紅白軍の激烈なる交戦ありしが就中高岡氏對木下氏の奮戦剣道の氣合の如く鋭く叫ぶ倉谷氏の健闘振り石山氏の愛嬌たつぱりの朗讀振は面白く終つて田中氏の雅趣に富む饗應ありて午後十一時觀聲裡に散曾せり

大正4年2月16日 北海タイムス

旭川歌留多戦

旭川區旭曾主催の第八回歌留多競技大曾は十日午後八時より四條通八丁目一號山二旭館樓上に於て頗る盛大に開催せらる定刻前既に百餘名の選手は彼處此處に陣營を張り連日鍛江に鍛江し腕を撫して時の來るを待ち中學生側は魔劍組と號し之を熊虎龍の三つに分けて一同眉を上ぐ主催者側の旭曾は輝と光の二組を編み旭川區裁判所の書記連はカイセル組と時節柄注意を引く名を付け近文及び師團方面の勇士には海士茶組の天地二つに大和組なる團体あり下富良野及び名寄方面よりは木葉天なる剛の者連が來曾區の一組に譽胡蝶なる一團体士別よりは九重組此外は混成團にて浪人組白波五人組男と勝手な名を頭上に戴きて霸氣天を衝き暫く各組の小手調べありて愈々午後八時半中學生の魔劍「熊」組と主催者側旭の「輝」組と組みて第一戦の火蓋を切る敵味方十人二十本の強腕が歌留多の上を電光石火の如くに閃き最後の一枚を魔劍の熊が取りし為に軍戦は遂に紅顔の少年組に揚れり第二回は魔劍の虎組が旭の光組と闘ひ是亦十數枚の差を以て虎組勝利を得たり第三戦は區裁判所書記連のカイセル組が腕を叩いて魔劍の龍に當る流石に満場の視線を集注せられしカイセル組の猛者連も中學生が修練の早業には適し難く十數枚の差を以て擊破さる之より各組の激戦ありて後に勝者の競技に移り雪の夜を徹して午前七時半次の成績を得て競技を終れり

第一等木葉天、第二等魔劍龍組、第三等タヤイ組（鐵道院側）第四等旭曾光組、
第五等魔劍熊組

尚大曾としては決戦すべき番組ありしも時間の都合にて差控へ各自散曾せり（豆）

大正5年2月2日 北海タイムス

旭川の歌留多曾

中央俱樂部の主催にて五日午後四時より四條通八丁目山二旭館に於てカルタ大曾を開催すべしと曾費三十錢一般同好者の参加を歓迎すと

大正5年3月4日 北海タイムス

旭川かるた大曾

四日午後六時より旭川區四條通八丁目山二旭館に於て同好者のかるた大曾を催すと

大正7年1月20日 北海タイムス

旭川かるた曾

初春の旭川かるた曾魁は旭川鐵道俱樂部で十一日午後五時俱樂部に開催非常の盛況なりしと

大正7年2月6日 北海タイムス

旭川全道かるた曾

北海東雲新聞社主催の全道かるた大曾を二月二日午後五時より旭川區三の八櫻園樓上に於て開催せるが札幌より一組留萌二組下富良野一組士別二組和寒二組當麻一組其他旭川地方等より集合したる俱樂部を合せ二十六組にして翌日午後四時まで競技を為し其結果優勝旗は和寒
凛々俱樂部の手に入り凱歌を奏して散曾したるは午後六時なりしと
一等和寒凛々、二等札幌白馬、三等旭川若葉露、四等旭川雪星、五等旭川若葉雷

大正9年1月12日 北海タイムス

旭川かるた曾

旭川北海日々新聞社主催にて来る十七日午後六時より旭川鯉川に全道歌留多大曾を催す

大正10年2月3日 旭川新聞 広告

全道歌留多大会

曾期 二月五日(第一土曜)午後六時ヨリ

曾場 旭川區四ノ八 山二旭館樓上

競技法 五人一組(男子團體競技) 四人一組(女子團體競技)

曾費 一人金一圓二拾錢(但シ瓣當付)

賞品 一等本社特製銀牌賞金參拾圓他花輪其他七迄(懸賞品山の如し)

六の十右四中

申込所 日刊 自由公論社

主催 日刊 自由公論社

後援 赤旗俱樂部

大正10年2月3日 北海日日新聞

自由公論主催歌留多大曾 来る五日開催

既報来る五日開催さるゝ自由公論社主催全道歌留多大曾に對し本社内カメキ俱樂部も之れを後援し三ツ組木盃五箇を寄贈したるが出場選手も既に確定したるを以て當日は定めし盛大なる事ならん

大正10年2月5日 北海日日新聞

全道下の句歌留多大曾 本日山二にて

自由公論社主催カメキ俱樂部赤旗俱樂部後援に係る全道下の句歌留多大曾は愈々本日午後六時より四條八丁目山二旭館樓上に於て開催に決し今や其準備に忙殺されつゝあり聞く處に依れば目下各地方の参加申込みは和寒、劍淵、士別、名寄、美瑛其他留萌、妹背牛、瀧川等多數あり區内よりは既に十數組の申込み又續々申込みの模様にて各所に毎夜猛烈なる演習あり定めし本日は壯絶なるべく因に五人一組團體曾費一人一圓二十錢にて賞品としては一等賞金三十圓純銀メタル並にカメキ俱樂部寄贈の三ツ組木盃一組宛二三等にも賞金副賞品贈呈以下七等迄なりと

大正10年3月4日 旭川新聞

旭川歌留多大曾

本日午後五時より四條通八丁目東洋軒に於て芙蓉曾主催となり旭川歌留多大曾を開催の筈であるが曾費は三人一組一人八十錢で瓣當付にて賞品は一等十圓二等五圓三等三圓其他多くの副賞與ふると

大正10年3月23日 旭川新聞

全道歌留多大會と本社優勝旗

旭川歌留多同好クラブ聯合の旭川歌留多同好會主催で来る二十六日土曜日午後六時より大川屋本店に於て五人競技全道カルタ大會を開催する筈であるが例年本社主催のカルタ大會は本社の都合により開催し兼たので本年度本社の優勝旗争奪戦の権利を與ることゝて本社開催と同様の盛況を來すべく希望者は大川屋本店に申込まれたいと

大正10年3月27日 旭川新聞

同好會主催 歌留多戰 本社が後援し優勝旗を授與

旭川歌留多同好會主催本社後援にて昨夕六時より四條通八丁目旗亭大川屋に於て全道歌留多大會を開催せるが區内の選手は勿論各地方よりの出場選手意外に多く頗る **盛會** を極めたり尚ほ本社はしのゝめ新聞時代より毎春歌留多大會を開催し殊に昨春優勝旗を新調し大争奪戦を舉行せる結果優勝旗は若葉俱樂部の手に歸せるが本年は本社の發展準備に忙しく歌留多會開催の暇なき為め心ならずも大會舉行見合せたる處旭川歌留多同好會が主催となり今回の全道大會開催せらるゝ事となりたるを好機とし一等の **榮冠** を得たる組に對し該優勝旗を授與すべく尚ほ明年再度一等の榮冠を得たる場合は其組の手に優勝旗を納むる事となりたるが昨夕より殆ど徹夜の奮戦に何れの組が此榮冠を荷ふや興味多し

○ 大正10年3月28日 旭川新聞

歌留多大會の優勝者は旭川夜叉俱樂部、本社優勝旗授與

旭川歌留多同好會主催本社後援全道歌留多大會は昨報の如く三條八丁目大川屋料理店樓上の廣間に於て **開催あり** 出場選手は當地常磐俱樂部燕、隼、鷹、北光會、北光り大旋魔ビー組、夜叉、村雨、大佛、血染、太陽、電、近文の春光、混成及び札幌より遠征の戀の鳥、和寒よりの凜々等十六組にて午後十時本社小林紀氏の挨拶にて開會せるが選手外は應援約百餘名あり第一回戦より引續き必死の猛闘を演じ應援者の拍手歎乎廣き開場を動かすばかりなりしが札幌より **遠征の戀の鳥** は本田、村田、西岡等の斯界の猛者揃ひにて第一に北光の光りを破り次で近文の春光を破り勢い鋭く同じく遠征の凜々第一に大佛を槍玉に上げ又旭川の夜叉當日を率ひ蹴破ぶる等もの凄きばかりの勢ひなりしも遂に第一等の榮冠は旭川の夜叉が獲得し本社の優勝旗授與せられたり第二等は同常盤の隼第三等は遠征團の都合上不戦 **妥協して** 三四五等を等分して常磐の燕、札幌の戀の鳥、和寒の凜々等が入賞し無事散會せるは昨午前十一時半頃なりき

○ 大正11年2月3日 北海日日新聞

龜龍俱樂部主催歌留多大會 明日旭川にて

明四日土曜日區内龜龍俱樂部主催にて五條通七丁目東屋に於て下の句全道かるた大會開催の由因に名寄士別和寒瀧川砂川其他札樽方面より續々申込あるとの事なれば定めし當日は盛大なるべし尚賞與は一等より五等までなりと

○ 大正11年2月8日 北海日日新聞

旭川下の句歌留多大會 夾る十八日開催

來る十八日紅葉會主催にて旭川下の句歌留多大會を催す四人一組にて曾費八十錢瓣當を呈す参加の向は商業會議所内丹野又は鐵道工場野木宛申込まれたしと詳細は追って發表する由

○ 大正11年2月11日 北海日日新聞

永山の第二回歌留多大會 山口旅館にて

本月二十五日午後四時より住ノ江俱樂部主催本紙永山賣捌店中尾隆榮堂後援の下に同村市街山口旅館に於て春季第二回歌留多大會開催の由尚曾費一人一圓三人一組本月二十日迄に中尾隆榮堂宛に申込むべしと

○ 大正11年2月15日 北海日日新聞

紅葉會主催の歌留多大會 十八日叶屋に

紅葉會主催北光後援にて來る十八日午後六時より三條通十五丁目右二號仲叶屋に於て開かるゝ旭川歌留多大會は前景氣頗る宜く出場選手多數の申込みあり當日は盛況を呈すべし四人一組曾費は八十錢來館隨意なりと

大正11年3月3日 北海日日新聞

北光會の全道歌留多大曾 四日大川屋に

三月四日午後七時より區内四條通八丁目大川屋本店に於て北光會主催の下に全道歌留多競技大曾を催すが當日は第三回優勝旗争奪戦であるから地方からも多數参加するといへば定めて盛會を呈するであらう

曾費一人一圓△五人一組團体競技△賞一等優勝旗一流△副賞五拾圓△二等記念大形木盃五個△副賞廿圓△三等記念木盃五個△副賞拾圓

大正11年3月11日 北海日日新聞

常盤會主催の歌留多大曾 本日夕刻から

今十一日午後六時より區内4條通十四丁目大川屋支店に於いて區内常盤會主催の下に下の句歌留多大曾を開催すべきが今回は花井氏隠退披露を兼ね居りて出場選手全部に記念品を贈呈すべしと曾費一人金八十錢(瓣當付)にて三人團体競技にて其他一等より五等まで夫々賞品を呈すべしと

大正12年1月13日 旭川新聞

全道歌牌大曾 めざまし社主催の

同業北海めざまし新聞にて今十三日(土曜)午後七時から師團通山二旭館に於て全道かるた大曾を開く出場選手は一組三人として曾費一人一圓瓣當附であるが一等より五等までの各組に賞品を贈り殊に優勝チームに對しては特製の優勝旗(一回にて其チームの所有に歸す)を授與する外花輪金時計等の副賞あり其他各等共賞品の外各新聞社寄贈のメタルを贈るべく婦人組藝妓組等あり各選手は非常の鼻息にて猛練習をなし來れる事と大て盛況を呈するであらう

大正12年1月15日 北海日日新聞

壯觀無比

全道かるた大曾の激戦

兩日間に亘つて旭館樓上に 丸サの美妓紅を散じて

入場者一千名と註せらる 札幌白瀬霸を稱ふ!

北海めざまし新聞社主催革新俱樂部後援になる北海全道かるた大曾は一昨十三日午後三時から四條通八丁目旭館樓上に於て開催されたが 參加 チームは札幌白瀬三組きりん一組名寄彗星二組留萌彌生二組愛別濁流深川北陽三組の遠征軍を始め市内革新、常磐、蛙聲、芙蓉の猛者連を合して四十四組にて開曾前既に意氣沖天の概を示したり定刻より二階室にては組毎に練習を續け午後十一時豫選に入ると同時に曾長大竹北海めざまし社長の開曾の辭を兼て各選手に 周到 なる注意を與ふるところあり川村任天氏又歌留多に關する一場の講演をなして猛烈なる競技の結果一敗棄権の定めによつて二十二組の落選決定し夜の白むに間もなき午前四時漸く本競技に移りて優勝戦に十一組當選せるが愈々決勝戦に入るや各選手はあらゆる秘術を盡して龍攘虎搏觀客の 心膽 を寒からしめ遂に革新(月)常盤(隼)彗星(燕)白瀬(エ一)革新(雪)の五組其選に入りて之れより物凄き争奪戦に肉彈相搏つの壯觀を呈し十四日午後二時散曾せるが當夜の觀客應援者は無慮一千名に達し中にも大川屋丸サ見番等の美妓連が花を亂して興をよんで頗る盛會を極めたり 入賞 者には一等優勝旗及花輪メタルの外澤山の副景品を贈り以下五等迄夫々賞品の授與があつた尚又入場者全部に對し金指輪金縁眼鏡金羽織紐醤油等の福引を頒つた

△一等賞 札幌白瀬組△二等賞 旭川常磐組△三等賞 名寄彗星組△四等賞 革新俱樂部(月組)

△五等賞 同俱樂部(雪組)

大正12年2月1日 旭川新聞

歌留多大曾

明後三日午後六時より四條七丁目丸天日吉館に於いて旭川魁俱樂部主催の下に歌留多大曾を開催する三人一組曾費一圓で優勝者には本社寄贈のメタルを呈する由當日は多數の入曾者を歓迎すると

大正12年2月3日 北海日日新聞

かるた同好者諸君よ今晚六時より市内三條十六丁目左五號新井氏宅で下の句曾が開かれます九時を締切として抽籤をなし三人一組と定め戰ふ由曾費は二十錢ですから奮って御參曾下さい(幹事)

大正12年2月6日 北海タイムス

旭川歌留多大曾

二月十日午後六時から旭川市四條通八丁目山二旭館で旭川常盤部主催となり全道下の句歌留多大曾を開催し賞金一等から五等まで外に副賞として銀大カップ三個を贈與し趣意としては地方選手を優遇の筈で三人一組二敗棄権曾費金一圓希望者は前日迄に三條通二丁目成田理髮館迄申込まれたしと

大正12年2月6日 北海日日新聞

カメキ主催全道かるた大曾 十日開催

来る十日午後六時より翌紀元節をトシカメキ俱樂部主催で全道かるた大曾を開く豫定であるが會場は目下選定中で明日の本紙上で發表の筈である、審判は最も公平に行ひ曾費は三人一組として一組一圓で賞品一等現金十圓、二等5圓、三等三圓其他五等迄であるが他に副賞品は山の如くあるといへば當日の大曾は定めし盛大なるものであらう

大正12年2月7日 北海日日新聞

永山村の全道歌留多大曾

来る十七日上川郡永山村住の江俱樂部主催で大和屋料理店に於て全道歌留多大曾を催す由なるが三人一組曾費一圓にて一等より五等まで呈贈宗谷線及旭遠線方面より選手多數参加の筈

○ 大正12年2月7日 旭川新聞

永山かるた大曾

永山全道かるた大曾は永山住の江俱樂部主催で来る十七日午後六時から永山大和屋料理店で開かれる豫定であるが宗谷線及旭遠線方面よりの参加者多數の見込みで尚各地遠征○の襲来を大いに希望してゐる由例により賞は一等より五等まで設け曾費は一圓である

大正12年2月9日 北海日日新聞

歌留多大曾の延期 來る三月二十二日

十日午後六時より開催の筈であったカメキ俱樂部主催の全道かるた大曾は主催者側の都合に依り三月二十二日に延期する由である参加申込者は承知ありたいと

大正12年2月25日 北海日日新聞

全道カルタ大曾 瞬俱樂部主催

三月二日午後一時より市内八千代館に於て近文瞬俱樂部主催となる全道カルタ大曾を開催する由なるが賞金は一等三十圓二等十五圓三等十圓其他副賞品澤山にて既に各方面より申込みあれば當日は定めし盛況を呈するならん因に参加希望者は曾費一人一圓つゝ三人一組につき二線一號田村源治方に申込まれたしと

○ 大正12年2月25日 旭川新聞

瞬俱樂部主催全道歌牌大曾 三月三日開催

近文瞬き俱樂部の主催にて来る三月三日午後七時より近文八千代館に於て全道カルタ大曾を開く事となつた、之を聞き傳へて各チームは既に猛烈な練習を續けてゐるが曾は三人一組曾費は一人一圓とし賞は一等三十圓二等十五圓三等十圓に澤山の副賞がある参加者は旭川二線一號田村軍次方へ申込まる可しと

大正12年2月25日 北海タイムス

全道加留多大曾 瞬俱樂部で

来る三月三日午後一時より旭川市近文八千代館に於て近文瞬俱樂部主催にて全道加留多大曾を開催すべく各地同好者に夫々案内せるが申込續々あり尚競技は三人を一組として決戦一等三十圓二等十五圓三等十圓其他副賞もあり入曾希望者は近文二線一號田村源治方へ申込むべしと（旭川電話）

大正13年1月14日 旭川新聞

歌留多曾 △十四日午後八時から近文二線一號千歳館樓上で素人かるた大曾を催すそですが玄人絶対にお断りだと（主催陽炎俱樂部）

大正13年1月27日 旭川新聞

全道歌留多大曾 北光曾主催で二月十日開催

優勝旗争奪の活舞臺

北光曾主催本社後援の第五回全道下の句歌留多優勝旗争奪大曾を来る二月十日午後六時から市内四條通七丁目旗亭蛇の目に於て開催する事となつた三人組曾費一組三圓で前年迄は二ヶ年間連勝の組に對して優勝旗を永久に授與する事となつて居たが本年は之を撤廃して本年の優勝組に永久に贈る事と改めた又今回は賞金がなく優勝組に對しては優勝旗と記念として彫刻の美術置時計一人一ヶ宛てに贈呈する外五等迄賞を贈り尚出場選手全員に對しても記念として京都清水焼け記念名入湯呑み一個宛もれなく贈呈する優勝旗は本社が北光曾に委託してあるものである曾場及び詳細は後報する

大正13年2月4日 旭川新聞

全道歌留多大曾は愈々 十日本社後援で

北光曾主催本社後援の第五回全道下の句歌留多優勝旗争奪大曾は既報の如く、来る十日午後六時から市内四條通七丁目旗亭蛇の目に於て開曾するに決したが競技曾則は三人一組團體競技とし、参加チーム申込みと同時に其主將氏名を届け出られたらしと尚詳細なる競技曾則は市内四條通十三丁目荒木關方北光曾に問い合わせすればよい因みに今回の大曾は優勝旗争奪戦のことと定めし盛曾を見るであらうと

大正13年2月7日 旭川新聞

北光俱樂部 歌留多大曾 地方の申込續々 盛大豫期さる

旭川北光俱樂部主催本社後援の全道歌留多優勝旗争奪大曾は愈よ十日午後一時より四條通七丁目「蛇の目」に於て開催されるが既に地方よりの申込多數で當日は盛大な申込である從來の歌留多曾は野卑と喧嘩をもつて終了するが多いが今回の大曾は一般觀覽者は静肅を旨とし競技に要嘴をしないこと尚競技者及び來觀者は其筋の注意に依つて煙草は喫煙室の外は絶対に禁じ一般觀覽者は曾場整理上百名限りとすると

大正13年2月10日 旭川新聞

優勝旗争奪の 全道かるた大曾

愈今宵旗亭蛇の目で 白熱的の試合が開始

北光俱樂部主催本社後援全道かるた大曾は愈よ本日午後六時から市内四條通八丁目旗亭蛇の目に於て開催される今回は優勝旗の争奪競技の事とて人気沸騰し其盛大さは豫期以上であらう大曾の順序は左の如くである

一、開会の辭 一、優勝旗返還 一、競技説明 一、組合抽籤 一、開戦豫選より決勝

一、優勝旗授與(一等より五等まで) 一、閉会の辭

尚未だ申込みのないチームは午後七時迄会場内庶務係迄申出られたい又入場の際は下足料として金十錢を申受ける由で多數競技申込があるので一般觀覽者は百名に達せば入場を拒絶すると

大正14年2月2日 北海タイムス

旭鐵カルタ曾

旭川鐵道俱樂部カルタ大曾は卅一日午後四時俱樂部大廣間に於て開催下ノ句は各線驛、機關車の選手對抗戦を演じついで上の句にうつり參曾者六十餘名十時散曾した

大正14年2月25日 旭川新聞

少年歌留多大曾

旭川若葉曾にては来る三月一日午後六時より市内一條通五丁目右十上川湯に於て少年歌留多大曾を催すが尚曾費は一人三十錢にて選手は十八歳以下の者に限ると

大正14年3月2日 旭川新聞

全道歌留多大曾八千代館 瞬俱樂部主催で開催

市内近文の瞬俱樂部主催で来る十四日午後六時から近文八千代館に於て全道歌留多大曾を開催する曾費は三人一組三圓で多數の出場觀迎する

大正15年1月12日 旭川新聞

歌留多大曾 常磐俱樂部主催

旭川歌留多愛好家常盤俱樂部主催巨星俱樂部後援の下に来る十五日午後六時から旭川停車場前双葉屋ペー樓上において下の句歌留多大曾を開催するが三人一組にて曾費一圓賞品として大花輪、メタル其他副賞品がある、参加希望者は市内三條通六丁目左五號巨星俱樂部宛申込まれたいと

大正15年1月14日 旭川新聞

二流かるた曾理髪會館で

明十四日午後十時から市内四條通十一丁目理髪館組合記念館に於て旭川四弦曾主催で二流かるた大曾を開催する初歩者を観迎する由であり且餘興として申込者先着二十組迄記念品を贈呈して盛曾を期する

大正15年1月15日 旭川新聞

来る二月十日を期し**全道歌留多大曾** 紫電俱樂部が發起し本社の後援で盛大に本社内紫電俱樂部發起本社後援で来る二月十日を期し全道歌留多大曾を開催するに決し俱樂部員は既に當日の盛曾を期し準備に忙殺されてゐるが曾場は未定競技は四人一組で曾費は四圓一人の申込は一圓で一等より七等までに賞金を贈る事となつてゐるが一等は五十圓であると、尚曾場は決定次第報道する

大正15年1月23日 旭川新聞

全道かるた大曾 三人一組に變わる 時間の嚴守を望む

紫電俱樂部主催本社後援全道歌留多大曾は愈よ市内三條七丁目会場旗亭蛇の目樓上に於て開曾する事に決し、着々準備進行中であるが先に發表せる要項の内、變更せる分は各組の人數であるが以前發表せる一組四人、都合上一組参人に變更した、曾費は一名一圓だから一組參圓である、各選手申込み締切期日は二月八日迄である、殊に地方團体は是に遅れない様に本社内主催宛に申込んで貰ひたい、猶ほ開曾當日は既定の午後六時を誤らず時間は極めて厳格に守られたく、従来の如く曾場に於いての練習はお斷りしますから二時間以上も遅刻出場せるもの、地方選手にて申込みなき時或いは棄権と見做して競技進行する様の事に至るであらうから参加者は充分に此の時間又は申込みを守るべしと

大正15年1月28日 旭川新聞

広告

全道歌留多大曾

曾場 蛇の目 (四ノ七)

曾費 三圓 (但シ三人一組瓣當付)

申込期日 二月八日迄 (社内主催宛に)

主催 紫電俱樂部

後援 旭川新聞社

北光曾

大正15年2月3日 旭川新聞

全道かるた大曾 好人氣に參加申込盛ん

旭川紫電俱樂部主催本社後援の全道歌留多大曾は来る十日豫定の通り四條七丁目蛇の目料理店樓上に開催の運びに至り参加申込みもすでに定數に達する有様であるが期日(二月八日)以前でも定數三十組に達せば受付を締切る由に付希望者は至急本社内紫電俱樂部宛申込まる方便利であると、尚主催側は目下其準備に忙殺されつゝあるも賞品多數を取揃ひ参加者の興味いやが上にもそゝるべく種々奔走中であるから開曾の上は頗る盛曾を告げるであらふ

大正15年2月5日 旭川新聞

全道歌留多大曾

会場 蛇の目 (四ノ七)

曾費 三圓 (但シ三人一組瓣當付)

申込期日 二月八日迄 (社内主催宛に)

主催 紫電俱樂部

後援 旭川新聞社 北光曾

大正15年2月6日 旭川新聞 広告

全道歌留多大曾

会場 蛇の目(四ノ七)

曾費 三圓(但シ三人一組瓣當付)

申込期日 二月八日迄(社内主催宛に)

主催 紫電俱樂部

後援 旭川新聞社

北光曾

大正15年2月7日 旭川新聞

遠征軍に備へる旭川軍 二月十日開かるゝ全道かるた大曾

二月十日蛇の目料理店樓上に開かるゝ本社後援の全道かるた大曾は最早餘日なく人氣頗る旺であるが申込期日も明日一日限りであるから希望チムは至急申込まれたいと尚已に申込むチムの内地方よりの遠征軍は札幌回天俱樂部、砂川紅俱樂部、増毛怒濤俱樂部、留萌彌生俱樂部、納内巴俱樂部、江別躍進俱樂部等の強チムがそれぞれ自信を以て出陣するがこれに對し當市側にあつては主催者の紫電俱樂部、北光曾を始め、堅牢を以て知られたる近文のまたゝき俱樂部、常の花俱樂部が陣容を新に整へて練習に夜を徹してゐる有様で余市、小樽の強軍來襲と共に當日の大戦は實に見ものであらうと愛好者は等しく開戦の日を待つてゐる

広告

全道歌留多大曾

会場 蛇の目(四ノ七)

曾費 三圓(但シ三人一組瓣當付)

申込期日 二月八日迄(社内主催宛に)

主催 紫電俱樂部

後援 旭川新聞 北光曾

大正15年2月9日 旭川新聞

全道かるた大曾 愈よ々明日に迫る 曽場は會議所に變更

本社後援全道かるた大曾は既報の如く、愈よ明日に迫り各チムの練習も白熱化し益々緊張味を加へて來たが、一方出場希望の申込チム俄かに殺到した爲曾場の變更を余儀なくされ、多数収容出來得る様急遽奔走昨日**旭商會議所に變更**して万端の設備を整へた、これが爲に向多數申込をうけらるべきにつき希望者の便を許り當日会場において受付をなし得る筈であるから希望者の申込を歡迎する尚當日は本曾の爲特に出張賣店が開かれ瓣當、パン、お茶等の販賣をなす等係員は斡旋大いに努めてゐる

広告

愈々明日

全道歌留多大曾

曾場 **商業會議所**

主催 紫電俱樂部

大正15年2月10日 旭川新聞

全道かるた大曾 けふ午後六時開戦

遠征軍對旭川軍の 奮戦こそ目覺しけれ

既報全道かるた大曾は諸般の準備全く成り曾場に當る旭川商業會議所は本夕六時より元氣横溢なる若人の活躍によって大戦場と化するであらうと愛好者は開戦の時を待ちあぐんで居るが當日は一等より七等迄の優秀チムに對し夫々記念賞品を贈呈するが一等の記念品は特製大メダル三個に副賞四十圓を附し大いに興を添えて居る

出場選手に希望

尚本曾は此の曾合を以て本道旭川歌留多界に一大刷新の歩を進む可く希望を有して居るもので、從来に現れたが如き悪感を嫌い先づ各選手の服装は決して亂さゞる事戰場には絶対に酒氣を帶て出場せざる事、喫煙室以外にては禁煙の事、競技は極めて神聖に行ふ事、言語動作を慎み、禮儀を尊重する事等充分かるた選手の品位向上に努むる筈である

廣告
愈々明日
全道歌舞留多大會
會場商業會議所
主催紫電俱樂部

大正15年2月13日 旭川新聞

札幌回天クラブ、革新を倒して優勝

紫電俱楽部主催本社後援全道かるた大會は十日午後十時より開戦したが、定刻本社記者の開會の辭をかね從来の風習破って極めて紳士的に言動を謹んで競技を行はれたき希望を述べ、直ちに四ヶ所の競技場に各組別れて激戦奮闘、各自人神の技を現して必死の戦ひ繰返し展開し場に溢るゝ觀衆の手に汗を握らせ、応援の聲を枯らし、拍手の手を痛めさすの盛会は翌日午後一時半迄續き、最後の優勝は遂に遠征軍札幌回天俱楽部の占むる所となつた。

昭和2年1月11日 旭川新聞

曾大留多歌樂神

来る十四日午後六時より市外神樂町公會堂に於て又新俱樂部主催のもとにかるた大會を開催するが希望者は當日午後六時より同九時迄の間に集合ありたしと

昭和2年1月14日 旭川新聞

歌留多大曾

旭川歌留多愛好者潮會では来る十五日午後七時より市内一條通二丁目右六號越中屋かたにて歌留多大會を開催すると

昭和2年2月6日 旭川新聞

全道かるた大曾

旭川市革新倶楽部及び自由新報社共催下の句全道かるた大會は来る十日午後六時から商業會議所樓上において開く三人を一組とし賞金は一等三十圓、二等十五圓、三等十圓以下十五等までだと

昭和2年2月10日 旭川新聞

金道下の句

歌留多大会

残念ながら新聞が破れていて本文不明

からふことゝなった、三人一組曾費金三圓にて賞金は一等三十圓、二等十五圓、三等十圓他十二等までの外副賞もあると

昭和2年3月15日 旭川新聞

有明曾主催の歌留多大會

諒闇のためでもあつたらうが餘り賑はなかつた歌留多曾は先月革新俱樂部主催で第一聲をあげたきり沈黙をまもつてゐたが今回昭和第二回の歌留多大曾が本日午前十時から有明曾主催で市内六條十丁目婦人會に開催される曾費は一人四十錢晝食づきで一等には記念優勝盃を授與する筈だ同好者は振つて參曾されたいと

昭和2年3月29日 旭川新聞

歌留多大曾

近文瞬き俱樂部主催にて来る三十日六時より近文一線一號谷口ミルクホールで歌留多大會を開催するが會費は三人一組で三十錢瓣當附の由

昭和3年1月7日 旭川新聞

かるた大曾 十日一力家に

旭川革新會主催北海毎日新聞後援にかかる全道かるた大曾は一月十日市内二條十四丁目左十號一力家料理店にて開催するが競技は一組三人曾費三圓にて賞金は一等二十圓、二等十五圓三等十圓にて十二等まで授賞あると

昭和3年1月9日 旭川新聞

瞬、革新共催のかるた大曾 十四日阿波屋で

瞬き俱楽部主催のかるた大曾は豫定を變更し革新俱楽部と共に開催の上來る十四日夜市内八ノ八阿波屋において開催することに決定した從つて革新俱楽部主催の十日開催豫定分は中止となつた譯である賞金は正金五十圓で各俱楽部では必勝を期して猛烈な練習中であるからこの決戦は非常な注目の的となつてゐる

昭和3年1月10日 旭川新聞

革新會主催のかるた大曾 曾場は一力家

瞬き俱楽部主催のかるた大曾は豫定を變更し革新會の主催に對し後援することとし革新會の十日開催は十四日市内二ノ四一力家料理店に於て盛大に開催することに決した賞金は五十圓で各俱楽部では必勝を期して猛烈な練習中であり地方からの申込も續々ありこの決戦は非常な注目の的となつてゐる、なほ本紙昨日の曾場阿波屋は二ノ十四一力家料理店の誤りである

昭和3年1月13日 旭川新聞

全道かるた下の句大曾 愈々明日開催

旭川市革新俱楽部並に瞬き俱楽部主催の全道かるた大曾は既記の如く明十四日市内二ノ十四一力家で盛大に催すといふが賞金五十圓あり多數の來曾を希望すると

昭和3年1月21日 旭川新聞

旭運かるた大曾

旭運俱楽部では今二十一日午後五時から俱楽部内で加留多大曾を催すが出場チーム二十餘組あり優勝者には賞品を贈ると

昭和3年1月30日 旭川新聞

かるた大曾 金鈴有明共催で本月卅一日

金鈴、有明俱楽部では一般二流素人のかるた同好者の興味のため来る卅一日五條七丁目伊勢屋料理店においてかるた大曾を開催することになったが當日は盛會を極むるであらう尚波瀬俱樂部は今度金鈴と改稱したと因みに同大曾にはすでに三十組からの申込があり一般同好者はなるべく早く參曾を申込こまれたいと

昭和5年2月7日 旭川新聞

素人下の句かるた大曾

旭川瞬き俱楽部で来る十五日午後六時から旭川市大町つるぎや食堂に全市素人下の句かるた大曾を開催するが曾費三人一組で一圓五十錢（瓣當付）賞品は一等より八等迄なほ出場者は全日大曾に申込まれたしと

昭和6年1月13日 旭川新聞 広告

来る十四日午後八時

素人かるた大曾

曾費一組一圓五十錢

場所 四條通6丁目

越中屋

主催 旭川有志

昭和7年1月29日 旭川新聞

二流歌留多曾

旭川市外神樂町神樂歌留多俱樂部では三十一日午後六時より同町公曾堂において二流歌留多大曾を開催するが三人一組九十錢であると

昭和7年2月2日 旭川新聞

素人歌留多大曾

旭川革正曾では来る五日午後六時より六條八丁目左二號元玉の家料理店玉田方において素人歌留多大曾を催すが曾費三人一組九十錢で一流選手に對しては二十枚のハンマー（結局七十枚の三十枚）を附す筈で地方側の遠征を望むと

昭和7年2月7日 旭川新聞

素人歌留多革正曾優勝

旭川革正曾主催の素人歌留多大曾は五日午後九時から六條八丁目元玉の家料理店跡で舉行したが参加チーム十二組接戦の結果左の如く入賞した
一等革正（山本、星、平田）二等エロス（常木、益田、出口）三等ポンプ（玉田、櫻井、佐藤）

昭和8年1月25日 旭川新聞

素人歌留多大曾

旭川まぼろし俱樂部では来る二十六日午後八時より三條十七丁目左一號竹の家バーにおいて素人歌留多大曾を開催するが曾費一組一圓五十錢（瓣當附）で一流選手の出場をお断りするとあれば多數選手の出場を希望すると

○ 昭和9年1月1日 旭川新聞

歌留多大曾

旭川寶來俱樂部の沿線歌留多大曾は四日午後八時より旭川三條十三丁目三笠屋園田方に開催されるが曾費一組一円五十錢で沿線二流選手の出場を観迎すると

昭和10年3月2日 旭川新聞

全道カルタ曾

旭川華正歌留多俱樂部では来る十六日午後八時から四條十五丁目ウービーに於て全道下の句一二流歌留多選手権大曾を開催するが一流一組三円二流一組二円十錢で賞品約六十個盛況を期待されてゐる

昭和10年3月15日 旭川新聞

全道歌留多大曾

旭川革正俱樂部主催の全道歌留多大曾は愈々十六日午後八時から四ノ十五カフエーウービーも華々しく開催されるが目下の申込は一流十組二流十組あつて技術は殆ど伯仲してをり當夜の接戦は觀衆の手に汗を握らすことであらう

昭和11年1月5日 旭川新聞

下の句歌留多の大曾開催

旭川革正歌留多俱樂部では一月十八日午後八時から市民集會所において全道下の句歌留多大曾を開催するが曾費は一流一組三円二流一組二円十錢（瓣當附）で賞品は六十円で多數参加を希望する

昭和11年1月13日 旭川新聞

全道かるた大曾…十八日

旭川革正俱樂部主催の第二回全道歌留多大曾は十八日午後八時より三條七丁目旗亭若葉（市集會所を變更）に舉行されるが地方チームは札幌、江別、岩見澤、瀧川、砂川、留萌、羽幌深川、筑紫、富良野、名寄、紋別、野付牛、遠軽の参加あるべく二流を合すれば優に三十組突破を豫想されてゐる尚ほ一流は一組三円、二流は一組二円十錢で賞六十円とあるので相當盛曾となるだらう

昭和11年1月17日 旭川新聞

旭川全道かるた大曾 ◇…曾長に尾崎氏

旭川革正かるた俱樂部主催の第二回全道かるた大曾は愈々十八日午後八時から三條七丁目旗亭和か葉において開催するが同俱樂部は今回曾長に二條五丁目土木請負尾崎敏男氏を推薦全道かるた界の権威として重要な位置を占めることとなつただけに右大曾も豫想以上の盛況を呈するものといはれてゐる

昭和11年2月11日 旭川新聞

中部歌留多大曾 榮冠は旭川チームへ

中部北海道歌留多（下の句）大曾は永山新興クラブ主催の下に去る八日午後八時より永山市街地後藤旅館において開催されたが村内は勿論旭川市を始め管内中央部の各町村から十數チームの参加あり九日午前五時まで約九時間熱戦の結果輝く榮冠は旭川市旭閃チームと決定規定の賞品〇に永山新興クラブ寄贈の大花輪本社寄贈の賞牌等獲得した戦績は左の如し
▲一流 一等旭閃（旭川）二等新興（永山）三等住の江（鷹栖）▲二流 一等永嵐（風連）
二等北一（新旭川）三等榮東（當麻）

昭和11年2月27日 旭川新聞

二流どころ歌留多大曾

革新歌留多俱樂部では三月一日午後七時から三條十二丁山キ平間に於て中部北海道二流歌留多大曾を開催するが三人一組一円五十錢（瓣當附）なほ一流選手の出場は固く断り同好者の出場を觀迎すると

昭和11年2月28日 旭川新聞

二流歌留多大曾

来る三月一日午後七時より旭新俱樂部主催にて中部北海道二流歌留多大曾を催すと曾費は三人一組一円五十錢（夕食付）なほ曾場は三條十二丁目山キ平間仕出店にて盛大を豫想されてゐる

昭和13年2月9日 旭川新聞

歌留多大曾

旭タイ同好クラブ主催にて二月十日午後七時より常磐公園『ときわ』において中部北海道歌留多大曾を開く、参加料は三人一チーム金二圓十錢（瓣當付）賞品は十等まで、一等には優賞旗、優賞カップ、メタル等の外三等までに賞金付なれば當日の盛会が豫想される同好各位の多數参加を望むと